社会福祉法人　長浜市社会福祉協議会広報誌

ながはま社協だより

Nagahama City Social Welfare Council

2026.11.1

81号

社会福祉法人 長浜市社会福祉協議会
〒529-0341 滋賀県長浜市湖北町速水2745
長浜市役所湖北支所３階
TEL.0749-78-8294　FAX.0749-78-8800

ホームページ　Facebook　YouTube　NAGAHAMASHAKYO Instagram

表紙写真：viva! Nagahama（ビバ！ながはま）in 豊公園



特集　外国人も、日本人も、ともに地域の一員
～つながりが育む、多文化共生のまち長浜～

特集　こどもＤｏまんなかひろば

この広報紙は赤い羽根共同募金の配分金で作られています。

特集

外国人も、日本人も、ともに地域の一員

～つながりが育む、　多文化共生のまち長浜～

長浜市の現状





なぜ今、多文化共生なのか

「外国人」と聞いて、皆さんはどのようなイメージを思い浮かべるでしょうか。

長浜市では、多くの外国人市民が働き、子育てをし、地域で暮らしています。もはや外国人住民は「地域を支える人」であるだけでなく、ともに地域をつくる大切な一員です。

しかし、言葉や文化、生活習慣の違いから、地域とのつながりを持ちにくい現状があります。一方で、日本人市民からも「どう接したらよいか分からない」「文化の違いが分からず戸惑う」という声が聞かれます。

必要なのは、特別な支援ではありません。

まずは、お互いを知ること。

その小さな出会いから、多文化共生のまちづくりが始まります。

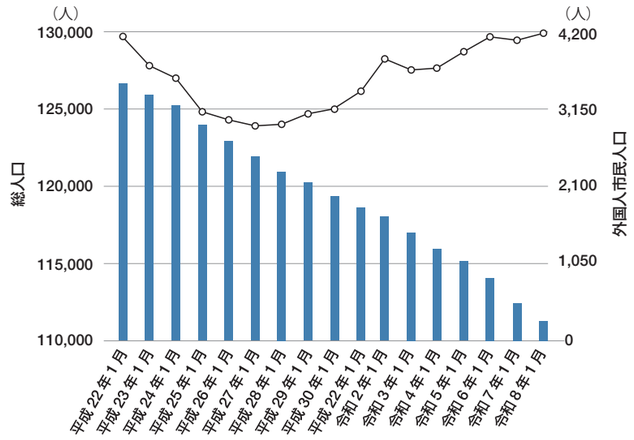
そこで長浜市社会福祉協議会では、様々な機関と連携し多文化交流サロン「viva! Nagahama（ビバ！ながはま）」を開催しています。

■ 国籍の内訳（2026.8.1 現在）　出典：長浜市

国・地域	人数	前年同月比（人）		主な在留資格（上位３つ）
ブラジル	1,413 人	▲ 38	↘	永住者、 定住者、 日本人の配偶者等
ベトナム	965 人	15	↗	技能実習、 技・人・国、 特定技能
フィリピン	402 人	13	↗	永住者、 定住者、 特定技能
中国	374 人	3	↗	永住者、 特定技能、 技能実習
インドネシア	270 人	67	↗	技能実習、 特定技能、 特定活動
ボリビア	204 人	6	↗	定住者、 永住者、 日本人の配偶者等
ペルー	180 人	▲ 1	↘	永住者、 定住者、 日本人の配偶者等
ミャンマー	123 人	63	↗	技・人・国、 特定技能、 技能実習
韓国	89 人	± 0	→	特別永住者、 永住者、 技・人・国
カンボジア	61 人	13	↗	技能実習、 特定技能、特定活動
その他	220 人	34	↗	永住者、 技能実習、 日本人の配偶者等

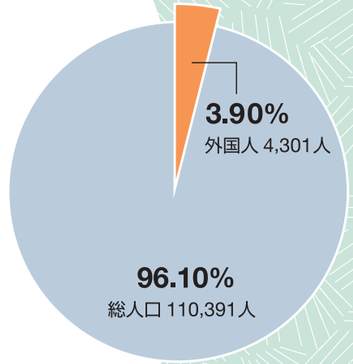
※技能実習は１号～３号の合計

■ 人口推移（2026.1.1 現在）　出典：長浜市



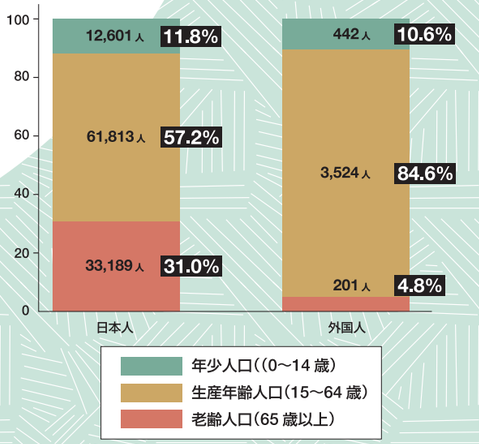
■ 総人口に占める外国人市民の割合（2026.8.1 現在）

出典：長浜市



■ 年齢区分別 外国人市民の割合（2025.12.1 現在）

出典：長浜市





「相談してください」では届かなかった

viva! Nagahama は、最初からたくさんの人が集まっていたわけではありません。

最初は参加者が友人を誘い、その友人がまた友人を誘う。

そんな口コミから少しずつ輪が広がりました。

実は、その前に外国人市民を対象とした困りごと相談会を開催したことがあります。

しかし、相談会にはほとんど参加者が集まりませんでした。

相談したいことがないのではありません。

相談できる相手との信頼関係がまだできていなかったのです。

だからこそ私たちは考えました。

まず必要なのは相談ではなく、交流ではないか。一緒にご飯を食べる。ゲームをする。季節の行事を楽しむ。こうした何気ない会話やふれあいを重ねることで、「また来たい」「ここなら安心できる」という気持ちが育まれていきました。

すると自然に、「実は相談したいことがあります」という声が聞かれるようになりました。

viva! Nagahama は、相談につなげる場所ではなく、信頼関係を育む場所。

その積み重ねが、結果として相談につながっています。

外国人も、日本人も、ともに地域の一員

～つながりが育む、 多文化共生のまち長浜～

特集



お花見

外国人参加者

「最初は、どうして桜の下でご飯を食べるのか分かりませんでした。でも、一緒に食べるととても楽しく、日本の文化を知ることができました。」

その後、地域の祭りへ参加。

仕事と家の往復だけだった生活が、地域へ広がっていきました。

「仕事と家の往復で、家族や同じ国の人としか関わりがありませんでした。でもサロンに参加したことで地域の人と知り合い、お祭りにも参加するようになりました。」

交流が地域へ広がる



民生委員

「最初はどう接してよいか分かりませんでした。でも何度も顔を合わせることで、地域の住民として自然に話せるようになりました。」

日本人参加者

「文化を知ることで、困りごとの背景が分かるようになりました。一緒に考えることができるようになったことが大きな変化です。」



お互いさまの地域へ

viva! Nagahama では、教える人、教えられる人、という関係はありません。料理が得意な人。日本語を教える人。母国の文化を紹介する人。子どもと一緒に遊ぶ人。それぞれが得意なことを持ち寄っています。だから、「外国人を支援する」ではなく、外国人も地域を支える一人という関係が自然に生まれています。

民生委員も、日本人市民も、外国人市民も、互いに学び、支え合いながら地域をつくっています。









相談は、信頼関係の上に生まれる

viva! Nagahama で育まれているのは、相談を受ける仕組みではなく、人と人とのつながりです。顔を合わせ、言葉を交わし、一緒に笑う。そんな日常の積み重ねが、「困ったときには相談できる」という安心につながっています。外国人も、日本人も、ともに長浜で暮らす地域の一員です。

違いを認め合い、それぞれの得意なことを生かしながら支え合うことが、誰もが安心して暮らせる地域づくりにつながります。長浜市社会福祉協議会は、これからも一人ひとりの出会いを大切にし、多様な人がつながる地域共生社会の実現を目指して取り組んでいきます。



ボランティア情報紙 extend
えくすてんど
No.154

福祉教育は「共に生きる」ための学び



「福祉」とは、「ふだんの　くらしの　しあわせ」。長浜市社会福祉協議会（以下、長浜市社協）では、次世代を担う子どもたちが福祉を身近に感じ、自分にできることを考えるきっかけとなるよう、福祉教育に取り組んでいます。

市内の小中学校で行われる福祉教育において、多くの皆さんのご協力をいただいています。視覚・聴覚・身体にしょうがいのある当事者の方をはじめ、点字・手話・要約筆記・災害・認知症などのボランティアグループの皆さんが、自らの経験や活動について伝え、子どもたちの学びを支えてくださっています。

福祉教育は、相手を「知る」ことから始まり、「自分にできること」を考える学びです。子どもたちだけでなく、地域や大人も共に学び、誰もが安心して暮らせる「共に生きる」地域づくりにつながることを目指しています。

福祉教育にご協力いただいている皆さまに、心より感謝申しあげます。



簡単！フレイル予防レシピ

伊香の里 管理栄養士の

さんまの蒲焼缶炊き込みご飯

フレイル予防には良質なたんぱく質をしっかり摂ることがポイントです。今回は秋にピッタリ♪さんまの蒲焼缶で簡単炊き込みご飯を紹介します！



約 **380kcal**
／たんぱく質 **10.8g** / 人

※写真はイメージ

材料（2～3人前）

- さんまの蒲焼缶…… 1缶（約100ｇ）
- 米……2合
- にんじん…… 70ｇ
- しめじ（えのきや舞茸も可） …… 1袋（約80ｇ）
- 生姜（チューブ可）…… 15ｇ
- 青ねぎ（小口切り …… 適量
- ◎酒（なくても可）…… 大さじ1
- ◎醤油…… 大さじ1
- ◎みりん…… 大さじ1
- ◎顆粒だし…… 小さじ1

1 にんじんと生姜を千切りにしておきます。
しめじは石づきをとり、ほぐしておきます

2 さんまの蒲焼缶を開け、身と汁に分けておきます。

3 お米を研ぎお釜に入れます。◎の調味料と 2 で分けた缶詰の汁を入れ、水を２合のメモリまで入れて軽く混ぜます

4 にんじんとしめじ、生姜、さんまの身の順にお釜に入れ炊飯します。

5 炊けたらさんまをほぐすように混ぜ、お好みでねぎをトッピングして出来上がり！

さんまは缶詰を使用することで扱いやすく、骨ごと食べられるためカルシウムも摂取できます。また青魚に豊富に含まれるDHA・EPAは血液サラサラ効果や脳の働きを助ける効果が期待できますよ！さんまときのこで秋の味覚を堪能してください♪

※食事内容に制限がある人は主治医の指示に従ってください

湖北基幹相談支援センター
ふらっとだより
vol.23

ソーシャルインクルーホーム長浜大寺町

福祉への情熱と推し活の力

ソーシャルインクルーホーム長浜大寺町は２４時間スタッフがおられ、しょうがい者の方がサポートを受けながら自立して暮らすことができるグループホームです。

管理者兼サービス管理責任者の藤村さんに活動の思いを伺いました。

「やっぱり福祉が好き」――再確認した自らの原点

高校卒業後、一貫して高齢者介護の道を歩んできた藤村さん。２年前、以前から興味のあったしょうがい福祉の世界へ飛び込みました。　過去に一度だけ福祉の現場を離れた時期がありましたが、「外の世界を経験したことで、自分には福祉の仕事が合っていると再認識できた」と振り返ります。　現在の仕事については、「利用者様とのかかわりが本当に楽しい。毎日が勉強です」と話してくださいました。

地域連携推進会議や避難訓練を通し地域とのつながり作りにも力を入れています。有事の際に顔の見える関係で助け合えるよう近隣施設との合同避難訓練の実施も模索しています。

（地域連携推進会議：障害者支援施設やグループホームが地域と連携し、サービスの質向上と利用者の地域生活を支援するための会議体です。）

活力の源は「推し活」と「家族」との癒やし

藤村さんのパワーの源は、私生活ではプロバスケットボールチーム「滋賀レイクス」の推し活や、自宅では犬や猫、ウサギに囲まれて過ごす時間が最大の癒やしだそうです。「推し活や動物たちとの時間があるからこそ、また明日から頑張れる」と笑う藤村さん。　彼女の明るいエネルギーと情熱が、ホームに温かな活気をもたらしています。

今後はしょうがいのある方のスポーツにも取り組んでいきたいとお話しされていました。

『ソーシャルインクルーホーム長浜大寺町』
〒529－0144
長浜市大寺町５６７番１
電話０７４９－７３－３１００



コラム 第９回

動機はイロイロ



栗木 剛（くりき　つよし）
motto ひょうご　事務局長
神戸大学教育学部卒業
（現 国際人間科学部）
「楽しくなくっちゃ　講演会じゃない！」をメインテーマに研修・講演を行っている、人の心をほんわかほぐす舌耕（ぜっこう）家。趣味は歩き回ること。座右の銘は「曲がり道は曲がってしまえ」

私が大学生の時、ニュースで知った宮城県沖地震の被害に心動かされた友人が、突然募金を始めました。
大声だけが取り柄の私も呼びかけに動員され、３日後、友人から「どこに持っていけばいいんだろう？」と呆れた疑問を投げかけられ、「たぶん、赤十字なんじゃない…」。

なぜか私が一人で募金を運ぶハメになり、赤十字の事務所で計数された後、受取書類に記名押印を済ませて帰ろうとした時、「この書類も書いておいて…」と言われて、不用意に書いてしまったのが、青年赤十字奉仕団への入団申込書。

ほぼサギですよね（今ではあり得ませんが…）。
当時硬派だった（？）私は、無視する勇気もなく、
翌週の神戸の裏山の六甲山の清掃ハイキングに参加。
作業後の昼食時、先輩のきれいなお姉さんが作って来てくれていたお弁当（これがまためっちゃ美味）を食べていると、「また、次の活動も来てね」と言われ、思わず「ハイ！」と答えてしまいました。その日に入団を断ろうと思ってたのに…

『そんな不純な動機でボランティアを？』とお思いでしょうが、おかげであれから５０年、ボランティア界隈にどっぷりと浸かり続けています（笑）。
ボランティアを始める動機も、続ける理由もイロイロあっていいんじゃないかな～

column

特　集

「こども」が\まんなか/にいるまち。

「こどもDoまんなかひろば」

みんなで つくる



「今日は何をして過ごそうかな？」

読書をしたり、絵を描いたり、友だちとゲームをしたり、スポーツをしたり。「やってみたい！」と思ったことに挑戦したり、誰かとおしゃべりしたり――。

そんなふうに、子どもたちが自分の時間を自分で選んで過ごせる場所が、さざなみタウンにあります。

長浜まちなか地域づくり連合会主催の「こどもＤｏまんなかひろば」は、２０２４年５月にスタートしました。毎月第２土曜日を基本に、子どもたちが思い思いに過ごせるさまざまな「ひろば」が用意されています。





「学校でも、家でもない」もう一つの居場所

この取組みの背景には、子どもを取り巻く環境の変化があります。核家族化や少子化、ライフスタイルの変化などにより、子ども自身の「やってみたい」という気持ちを実現できる「楽しい遊び場」が少なくなっている――。こうした状況を踏まえ、「It takes a village to raise a child.（こども一人が育つには、一つの村が必要だ）」という思いで子どもたちのウェルビーイング（良い状態）を目指し、「まちなかをこども笑顔いっぱいのまち」にしていく、その一歩として始まったのが、「こどもＤｏまんなかひろば」です。



「何をするか」は、子ども自身が決める

「こどもＤｏまんなかひろば」の大きな特徴は、子どもたちの自発性を大切にしていること。現在は、読書やおしゃべり、お絵かきなどでゆっくり過ごす「のんびりひろば」、ボードゲームやカロム、スポーツなどを楽しむ「あそびのひろば」、工作や伝統文化、しゃぎりなどに取組む「まなびのひろば」、友だちや地域の人と一緒に昼食を楽しむ「まんぷくひろば」の４つの場が用意されています。

「これに参加しなければならない」という場所ではありません。子どもたちが、自分の時間をどう過ごすのかを自分で決め、それぞれの持ち味を発揮できる。そんな場を目指した取組みです。遊びや学び、食事など、さまざまな人とのふれあいを通して「ナカマ」ができることも、このひろばの大切な目的の一つです。

子どもを「地域で」育てる

このひろばをつくっているのは、長浜まちなか地域づくり連合会と長浜まちづくりセンターのほかに図書館やたくさんのボランティア、団体、個人、長浜バイオ大学の学生など、さまざまな人や機関が関わり、それぞれの得意なことを持ち寄りながら、子どもたちの居場所をつくられています。長浜まちなか地域づくり連合会が掲げるまちの姿は、「多世代が多様な人たちと交流できるまち」。その中で、子どもを地域ぐるみで守り育てることも大切な目標として位置づけられています。

子どものために、大人が何かを「してあげる」のではなく、子どもを真ん中に、地域のさまざまな人がつながっていく。「こどもＤｏまんなかひろば」は、そんな地域づくりの場でもあります。



子どもの笑顔が、まちの真ん中に

毎月、第２土曜日になると、さざなみタウンに子どもたちが集まります。そこには、遊ぶ子、学ぶ子、のんびり過ごす子、誰かと話す子、それぞれの時間があります。「何をしてもいい」「自分で選んでいい」。

そんな安心できる場所が地域にあることは、子どもたちにとって大きな支えになるのかもしれません。

子どもたちの笑顔を真ん中に、子どもも大人も、いろいろな人が出会い、つながる。

「こどもＤｏまんなかひろば」から、子どもたちが地域の中で育ち、地域の人たちもまた子どもたちとともに育っていく。そんな「こども笑顔いっぱいのまち」を目指す取組みが長浜まちなかで続いています。

INFORMATION

こども Do まんなかひろば

開催日　毎月第２土曜日
時　間　午前 10 時～午後３時
場　所　長浜まちづくりセンター
　　さざなみタウン内（長浜市高田町 12-34）
対　象　原則、小学生
主　催　長浜まちなか地域づくり連合会
協　力　長浜まちづくりセンター

※詳しくは長浜まちなか地域づくり連合会・さざなみタウンのホームページをご確認ください。

INFORMATION

インフォメーション

えんかふぇ
～ひきこもりがちな若者 学校に行きづらい子どもの居場所～

気楽に自由な時間を過ごせる居場所を開催しています。本を読んだり、ゲームをしたり、おしゃべりしたり、ぼーっとしたり…。ひとりで、親子で、友達と…、保護者だけの参加も大歓迎です！ぜひお越しください。

日　　時：毎月第１・3木曜日
（祝日の場合は休みです）１３：３０～１６：３０

会　　場：旧びわ福祉ステーション
（長浜市社会福祉協議会びわセンター）
長浜市難波町４８３

えんかふぇ女子会

日　　時：毎月第４水曜日
（祝日の場合は休みです）１３：３０～15:00

会　　場：浅井福祉センター
長浜市内保町４８０－３

参 加 費：無料

お申込み：不要　（当日会場にお越しください）

お問合せ：地域福祉課 長浜センター
TEL:０７４９－６２－１８０４

認知症サポーター養成講座

認知症について学びたい方、対応方法を知りたい方、どなたでもご参加いただけます。
ひとりで、親子で、気の合う友達と一緒に。お誘いあわせのうえぜひお越しください。

日　　時：令和8年12月2日（水）１３：３０～１５：００
令和9年2月3日（水）１３：３０～１５：００

場　　所：長浜まちづくりセンター　会議室 2AB
（長浜市高田町１２-３４ ささなみタウン内 ）

参 加 費：無料

お問合せ・お申込み：南長浜地域包括支援センター内
長浜市認知症キャラバンメイトひなた
ＴＥＬ：０７４９－６５－８３５２

地元の繁栄に奉仕する長浜金融協議会

京都銀行
関西みらい銀行
大垣共立銀行
滋賀銀行
長浜信用金庫

よろず相談

地域住民のみなさまが日常生活の中で抱える人権や財産、金銭賃借、家族問題等のご相談を人権擁護員・民生委員児童委員といった相談員がお受けし、助言や各関係機関への紹介を行います。秘密は厳守しますので、お気軽にご相談ください。予約は不要です。（先着順のため、相談中の場合はお待ちいただくことがあります。）

会　　場：長浜市地域福祉センター
（長浜市高田町１２－３４ささなみタウンながはま文化福祉プラザ３階）
日　　時：毎週月、火、水、金曜日　13:00～16:00
毎週木曜日　１０:00～１２:00
専用電話０７４９－６３－４８１１

会　　場：湖北福祉ステーション
（長浜市湖北町速水１８６０）
日　　時：毎月第４水曜日１０:00～１２:00
ＴＥＬ０７４９－７８－２１４４

会　　場：木之本福祉ステーション
（長浜市木之本町千田５３）
日　　時：毎月第４木曜日　１０:00～１２:00
ＴＥＬ０７４９－８２－５４１９

＊来所が困難な方は、長浜市地域福祉センターの専用電話をご利用ください。
＊湖北福祉ステーション、木之本福祉ステーションでは、祝祭日の場合、別日での開催となります。詳しくは各窓口までお問合せください。

お問合せ：相談支援課０７４９－５７－６１２３

法律相談

弁護士がご相談をお受けします。完全予約となっておりますので、ご希望の２週間前までにご予約ください。

日　　時：毎月第２，４木曜日
１３:００～１６:００（１件につき３０分以内）

場　　所：長浜市地域福祉センター
（長浜市高田町１２－３４ささなみタウンながはま文化福祉プラザ３階 ）

対　　象：長浜在住の方

＊過去１年間にこの法律相談をご利用・キャンセルされた世帯の方はご利用できません。

お問合せ・お申込み：相談支援課　０７４９－５７－６１２３

レーク伊吹農業協同組合



琵琶湖と伊吹山に囲まれたJAレーク伊吹は
人と自然と街を愛で優しく包みます。

〒５２１－００６２　滋賀県米原市宇賀野２８０番地1
TEL:0749－52－6520㈹　https://www.ja-lakeibuki.or.jp

善意銀行
令和８年５月29日～令和８年８月31日

金銭口座（敬称略）

氏　名	金額（円）
藤田治彦	3,000
こあじさい	20,000
藤田電機工業㈱	100,000
㈱明豊建設　安全衛生協力会	114,000
阪東芳彦	5,000
長浜葬祭有限会社 ソニアホール	100,000
合　計	342,000

物品口座（敬称略）

氏　名	物　品
長浜信用金庫　信友会	食品等　１０箱
生長の家 滋賀県教化部 湖北	食品
横田清弘	米２袋（３０Kg×２）
松田裕香子	シャワーチェアー
鳥羽上南町自治会	ドライカレー５０食、 山菜おこわ 50 食
農業生産法人　株式会社 みはまアグリ	玄米１８０Kg
匿名　３件	お米（玄米）３０Kg×８袋、 タオル お茶、ジュース各１ケース

令和８年熊本地震災害義援金

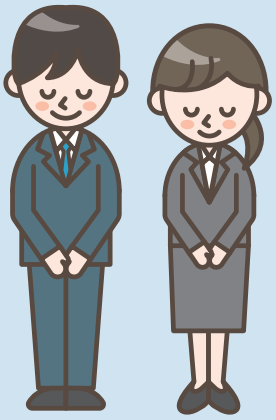
令和８年熊本地震災害義援金ご協力ありがとうございました。

受付日	氏　名	金額（円）
	匿名　１５件	238,250
令和8年 8月7日	赤木　圭一郎	30,000
令和8年 8月10日	松嶋　弥生	30,000
令和8年 8月24日	小松　次夫	300,000
令和8年 9月4日	六荘まちづくり協議会	100,000
令和8年 9月7日	陽気に行こう	32,074
令和8年 9月9日	大塚産業グループ （大塚産業マテリアル（株）、大塚産業ソーイン（株）、 大塚産業クリエイツ（株）、大塚産業インテリア（株）	4,000,000
令和8年 9月11日	長浜ロータリークラブ	200,000

お寄せいただいた義援金は、日本赤十字社・共同募金会を通じて被災地の支援に役立てられます。



社協会費の納入に
ご協力いただきありがとうございました



会費は『地域の絆で　ともに育み支えあい　安心して暮らせるまち長浜』を目指し、地域の交流活動や見守り活動などに活用しています。

一般会費（自治会）　10,711,636円

特別会費（法人）・賛助会費（個人）　581,000円

（順不同・敬称略）

油七商店、新木産業㈱、池上建築、岩崎産業㈱、魚武、内保製材㈱、梅本安平商店、近江ベルベット㈱、大塚浩司税理士事務所、大辻税理士法人、小川 利樹、押し花工房やまぼうし、オリエンタル酵母工業㈱びわ工場、カーサポートミヤゲン㈱、カーライフ北近江㈱、カネ上㈱、川一電機㈱、川上工務店、川北塗料㈱、川瀬産商㈱、北川住設、北びわこ農業協同組合 本店、協業組合東浅井車検センター、化城ペガサス㈱、江一㈱、湖北工業㈱、湖北農業会館、近藤モータース、材栄製材㈱、滋賀中央観光バス㈱、滋賀びわ湖漁業協同組合 南浜支所、新栄工業㈱、セネファ㈱、セフィロト病院、大栄工機㈱、鷹野機械㈲、武田歯科、田中ビジネスサポート㈱、田辺工業㈱、谷川建具、東亜工業㈱、長浜市商工会、長浜信用金庫 本店、長浜葬祭㈲、中萬商事㈱、日軽パネルシステム㈱滋賀工場、日本ソフト開発㈱、農事組合法人 産直びわ みずべの里、原馬化成㈱、兵神装備㈱ 滋賀事業所、本城税務会計事務所、丸三開発㈱、丸三ハシモト㈱、三菱ケミカル㈱中日本事業所、みのや茶舗、宮部運輸㈲、八木商店、焼肉万歳 三蔵、ヤマト管工㈱、ヤンマーロジスティクス㈱、横尾工業㈱、ヨコタ･ライフサービス、ヨコハマタイヤ滋賀販売㈱、吉田商事㈱、レーク伊吹農業協同組合 長浜南支店、ワボウ電子㈱、㈱朝日商社、㈱油甚、㈱伊吹機械、㈱伊吹モータース、㈱魚三、㈱オー･ケン、㈱大塚工務店、㈱オーミヤ、㈲カープラザ･フジ、㈱かねこ工務店、㈱関西みらい銀行 長浜支店、㈱グッドウィン、㈱栗原、㈱材信工務店、㈱３６５ - エステート、㈱シガウッド、㈱滋賀銀行、㈱滋賀親蜻会、㈱ＪＩＣ、㈱シバタプロセス印刷、㈱清水商会、㈱大一保多屋、㈱ダイチュウ、㈱茶真商店、㈱トヨタレンタリース滋賀、㈱鳥塚、㈱中川工務店、㈱中田モータース、㈱西村建具、㈱日本保安警備管理協会、㈱ハートコンピューター、㈱花玄、㈱浜湖月、㈲ヒコ･イン コーポレーション、㈱ビューティーサロンスズキ、㈱藤田工業、㈱ふるさと夢公社 己高庵、㈱文昌堂、㈱丸善エナジー、㈱マルマン、㈱ミールサービスたにぐち、㈱宮川商店、㈱山正、㈱山利製作所、㈱ゆたか、㈱ライフリリーフ、㈱ラッキーモータース、㈱リーフル、㈱ロハス長浜、㈲油定商店、㈲伊藤商会、㈲小川自動車整備工場、㈲こめ治、㈲佐水板金工業、㈲三榮工務店、㈲シミズ、㈲清水眼鏡店、㈲清水モータース、㈲下村印刷所、㈲武田自動車販売、㈲千茂登、㈲茶のながはま、㈲辻種苗、㈲ＴＡＧ、㈲中川ガス、㈲ナカリンオートサービス、㈲成駒家、㈲西側屋、㈲林クリーニング商会、㈲山口屋、㈲山近、㈲吉田電気工業、ヤンマーパワーテクノロジー㈱

日本赤十字社活動資金への
ご協力ありがとうございました

長浜市では、自治会や赤十字奉仕団の皆さまのご協力により、赤十字活動に必要な活動資金をいただくことができました。市民の皆さまの温かいご支援とご協力に心から感謝申しあげます。



日本赤十字社活動資金実績額（令和８年９月末日現在）

自治会・個人　5,386,496円

法人　634,684円

発行：社会福祉法人 長浜市社会福祉協議会　〒529-0341 滋賀県長浜市湖北町速水 2745　TEL: 0749-78-8294